

令和6年度



しもよねだ

第2号

令和6年4月30日(火)

考えることが、あなたを守ることに繋がります

～命を守る訓練の様子から～

校長 板津 英文

4月11日、命を守る訓練を行いました。今回は、校内で火災が発生したことを想定した訓練でした。放送の指示で、グラウンドに避難すること、消火器による消火や消防車からの放水を見学しましたね。



消防車からの放水を見学する様子

◎「お・は・し・も」の意味を考える

訓練では、命を守る合言葉「お・は・し・も」を学びました。おさない、はしらない、しゃべらない、もどらない でしたね。

消防署の方の話の中で、「おさない」ことについて、避難しているときに、「おす」と階段から転落するなどして、大変危険であることなどを教えていただきました。

では、「は」について、どうして「はしらない」のでしょうか？避難するときに、建物の中では、行く先に、火や煙が出ていたり、危険な物が落ちていたりすることがあります。走らず慎重に避難することが必要です。また、走ると階段の手前などで、人が一か所に集まってしまう、押しつぶされそうになる、というようなことも起きるかもしれません。結果的に、走らない方が早く安全に避難できます。「し」や「も」についても、実際に、火事の時の様子を想像して、考えてみてくださいね。

◎「今どうするのがよいことなのか」を考える

全校で避難した後、安心感からなのか、どうしても私語をしてしまう人もいました。でも、そんなとき、静かに話を聞けるように、働きかける声が、たくさん聞こえてきました。すばらしいと思いました。働きかけをした人は、今どうすることがよいことなのかを考え、正しく判断し、行動できる人だと思います。

本当に火事が起きて、慌てているときには、心に余裕がありません。普段から、言葉の意味を知っていること、考え、判断し、行動することを大切にしていること。この積み重ねが、いざというときに、あなたを守ることに繋がりますよ。